

分娩時肛門括約筋損傷 OASIS (Obstetric Anal Sphincter Injuries) ハンズオンセミナーのご案内

(第8回肛門関連疾患集談会・第680回産婦人科集談会合同開催)

分娩時肛門括約筋損傷 OASIS (Obstetric Anal Sphincter Injuries)は産褥婦のQOLに大きく関わる疾患であり、急性期・慢性期を通じて診療が必要である。長期的な予後を改善するためには、発症時の診断、修復術などの治療介入、その後のリハビリを含めたフォローが重要となる。

近年、無痛分娩の実施率は、2016年の全分娩の約6%から2020年には8.6%へと上昇し、今後も上昇が予想される。また、出産年齢の高齢化も顕著である。これら周産期背景を鑑みると、OASISのリスクである遷延分娩や器械分娩の増加と、それに伴うOASIS発症の増加が予想され、今まで以上に適切な診療が必要となってくる。

欧米では、米国産科婦人科学会や英国王立産科婦人科学会がOASISの診療ガイドラインを制定しており、診療の質が確保されている。しかし、日本では診療ガイドラインが整備されておらず、罹患率などの疫学データも不足している。

本プログラムでは、OASISに関する最新の知識を深める講義(疫学、診断、治療)に加え、生体モデル(豚)を使用した分娩時の縫合修復ハンズオントレーニングを実施する。

国際的に推奨される修復手技を習得できる貴重な機会となるため、出産に関わる産婦人科医、修復に関わる外科医の参加をお待ちしています。

日時：令和7年11月28日(金) 19:20-21:40

場所：葛飾区医師会館 3階講堂(東京都葛飾区立石5-15-12)

定員：20名 ※申込者多数の場合は、ご希望に添えない場合がございます。

※受講の可否につきましては、追ってメールにてご連絡いたします。

材料費として1,000円ご負担していただきます。(事前振込み)

※材料費のお支払いにつきましては、受講確定後に別途メールにてご案内をいたします。材料費振込後のキャンセル、当日のご欠席につきましては、ご返金いたしませんのでご了承ください。

申込方法：参加をご希望の方は、下記メールアドレス宛に医療機関名、氏名、主たる診療科目を記載の上、ご連絡ください。

葛飾区医師会 学術・広報部宛て shudankai20200601@gmail.com

申込締切：令和7年10月17日(金)

テーマ：分娩時括約筋損傷の修復について

講師：昭和医科大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター講師 岡田 義之 先生

亀田総合病院 消化器外科部長 高橋 知子 先生(アシスタントDr 青木 沙弥佳 先生)

東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 末光 徳匡 先生

日本医師会生涯教育制度 カリキュラムコード：0

【産婦人科医会の皆さまへ】

このセミナーは日産婦の研修会参加登録の対象外です